

出身

総合大（現在は、高度ポリテクセンター）の宇佐美氏から大げさな紹介をいただきました沖縄能開大の板倉と申します。私がリレートークを受けるに際してのやり取りを少々。

10月の初め、出張で総合大に行ったときのこと、宇佐美：「奥ちゃん（木材加工科の卒業生）が、イタリアから戻ってきて、八王子でシェフをやってるんですけど、行ってみませんか？」

私：「行こ、行こ」と、ホイホイついて行って、生ビールを一杯飲んだ後ぐらいに、

宇佐美：「板倉さん、『リレートーク』って知ってます？」

私：「ああ、『技能と技術』のやつやろ。」

ここで、気がつけばよかったものの、店を出るころには、「だれも受けてくれる人がおらへんかったら、俺が書くから。」なんてことになっていたわけです。飲んだ席で私にものを頼むなんて、宇佐美氏もなかなかやるもんです（私の弱点をよく知っている）。

◇

前置きが長くなってしまいましたが、本題に…。『技能と技術』というからには、それなりのことを書かなければと思いましたが、ソフト路線の投稿も多いので、私もその路線で、ということで、最近、悩んでいる「出身」というキーワードで書いてみたいと思います。

「出身」という言葉を「広辞苑」で引いてみると、「生まれた土地、卒業した学校、属していた身分などが、そこであること。」とあります。私は、普段、「出身地は？」と聞かれたら、「兵庫県西宮市です。」と答えます。実は、広辞苑によるとこれは、間違いであったわけです。3歳までしか住んでおらず、記憶もほとんどない「兵庫県明石市」が、私の出身地だったので（兵庫県出身には間違いありません）。

なぜ、「出身」という言葉に悩んでいるかということ、それは我が息子達の出身地がどこになるのか？という疑問からです。長男は、生後3ヵ月まで秋田県大館市で過

ごし、その後、沖縄県北谷町（北谷と書いてチャタンと読みます）に引っ越してきました。今では、5歳になります。この子は、「秋田県大館市出身」あるいは「秋田県出身」なのでしょうか？ 1歳2ヵ月になる次男は、沖縄で生まれたから、「沖縄県北谷町出身」あるいは「沖縄県出身」なのでしょうか？

私は、広辞苑に書かれているように単純に「生まれた土地」＝「出身地」とは思えません。それは、出身地の独自性（アイデンティティ）を考えたとき、その1つに言葉（方言）という大きな要素があると思うからです。すなわち、我が息子たちの出身地は、いずれ彼らが喋る言葉（方言）によって決まってくるような気がします。例えば、私の場合、関西弁を喋りますが（緊張したときと飲んだときは特に）、それは、「神戸の香りがする関西弁？」であり、生まれた土地「明石」で喋られる「播州弁」とは異なります（播州の人、ゴメン）。だから、私は、つい「西宮出身」と口から出てしまうのだと思います。我が息子たちが、成長して「秋田弁」がポロリ、「ウチナーグチ（沖縄の方言）」がポロリと出てくるようであれば、それが彼らの出身地であるような気がします（長男がまさか「秋田弁」を喋るようになるとは思えません）。しかし、彼らが成長したとき、一度も関西に住んだこともないのに両親の喋る「関西弁」を喋っていたら、どう解釈したらよいのでしょうか？ どなたか、私の些細な悩みを解決してくださる方、お待ちしております。

◇

さて、今回のリレートークは、「もし、私にリレートークがまわってきたら、絶対にこの人に!!」と心に決めていた、秋田短大校の佐藤重悦さん（秋田県本荘市出身）にお願いしました。重悦さんには、私の最初の赴任地「秋田職業訓練短期大学校開設準備室」時代を含む5年間、公私ともにお世話になりました。右も左も、口の利き方も知らない私を何とか「社会人」に育ててくれた恩人です。それでは、重悦さん、よろしく!!